

SDGs未来都市等進捗評価シート

和歌山県和歌山市

2020年9月

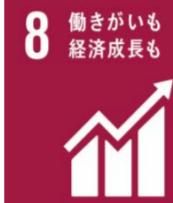
SDGs未来都市計画名

和歌山市 SDGs 未来都市計画

SDGs未来都市等進捗評価シート

2019 年度

1. 全体計画

計画タイトル	和歌山市 SDGs 未来都市計画					
2030年のあるべき姿	<p>「持続可能な海社会を実現するリノベーション先進都市」 ①世界が注目する都市機能と自然環境の最適調和都市、②心地よいコミュニティの中で送る豊かな暮らし、③リノベーション先進都市における域内経済好循環の実現、④地域人材が活躍する実践教育の確立による多様な人材の育成、⑤海をはじめとする豊かな自然に触れられる快適なまち</p>					
2030年の あるべき姿の 実現に向けた 優先的なゴール	経済 ゴール8 ターゲット8.1、8.2、8.3、8.9 ゴール11 ターゲット11.3  		社会 ゴール4 ターゲット4.7 ゴール11 ターゲット11.2、11.7 ゴール12 ターゲット12.8   		環境 ゴール6 ターゲット6.3 ゴール11 ターゲット11.4 ゴール14 ターゲット14.2   	
優先的なゴール、ターゲットに関する KPI						
#	指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号		当初値	2030年	進捗状況や課題等（定性指標や補助指標等を含む）	
	1 市内総生産		2015年度 16,941億円	2030年 16,941億円	17,519億円（2017年）／特に課題なし（順調に推移）	
	2 サービス産業の労働生産性		2016年度 413万円／人	2030年 全国平均	当初値の413万円／人(2016年)(全国平均は499万円／人)以降、新たな数値はでていない状況である	
	3 創業件数		2018年度 140件	2030年 748件 (累計)	102件（2019年度）／特に課題なし（目標値は累計のため、順調に推移）	
	4 観光消費額		2018年 47,554百万円	2030年 52,870百万円	49,649百万円（2019年）／特に課題なし（順調に推移）	
	5 年間宿泊客数		2018年 959千人泊	2030年 1,110千人泊	1,016千人泊（2019年）／特に課題なし（順調に推移）	
	6 リノベーション実事業化物件数（累計）		2018年度末時点 18件	2030年 54件 リノベスクール関係案件	20件（2019年度末時点）／ベースとしては、少し遅れている。コロナ禍における案件化の促進など今後もハードルはあるものの、継続して取り組んでいく。	
	7 まちなみ居住人口の比率		2018年度末時点 8.8%	2030年 9.4%	8.8%（2019年度）／現在、コンパクトシティ政策を推進しているところであり、成果があらわれるまではいましばらく時間がかかると思われるが、継続して取り組んでいく。	
	8 高校生の市内就職率		2018年度 82.5%	2030年 91.3%	87.8%（2019年度）／特に課題なし（順調に推移）	
	9 市内公共交通機関の年間輸送人数		2018年度 29,278千人	2030年 30,761千人	28,856千人（2019年度）／全国的に公共交通機関の利用者減少が問題となる中、本市も当初値を現状値が下回る状況となっている。利便性向上や目的地の魅力化などに取り組みなんとか目標値に近づけていきたい。	
	10 高齢者が住み慣れた地域で充実した生活を送っていると思っている市民の割合（市政世論調査）		2018年度 57.5%	2030年 60.5%	53.8%（2019年度）／市政世論調査の数値を使用しているため、各年でどうしてもバラつきはでてしまうが、基準値を下回る状況となっていることから、高齢者も含め誰もが住みやすいまちづくりに継続して取り組んでいく。	
	11 ボランティア登録団体数		2018年度 422団体	2030年 433団体	480団体（2019年度）／特に課題なし（目標値を達成済）	
	12 地域住民によるまちづくり活動やふれあい活動に対する市民満足度（市政世論調査）		2018年度 14.1%	2030年 22.9%	9.1%（2019年度）／市政世論調査の数値を使用しているため、各年でどうしてもバラつきはでてしまうが、基準値を下回る状況となっていることから、より住民主体のまちづくりの動きを促進できるよう継続して取り組んでいく。	
	13 海・山・川などの豊かな自然環境に対する市民満足度（市政世論調査）		2018年度 62.5%	2030年 63.6%	58.9%（2019年度）／市政世論調査の数値を使用しているため、各年でどうしてもバラつきはでてしまうが、基準値を下回る状況となっていることから、持続可能な海社会を創るための取組をはじめ、自然環境保全への取組に継続して取り組んでいく。	
	14 まちなみの美しさに対する市民満足度（市政世論調査）		2018年度 31.9%	2030年 37.0%	24.6%（2019年度）／市政世論調査の数値を使用しているため、各年でどうしてもバラつきはでてしまうが、基準値を下回る状況となっていることから、市民も巻き込む形で目標値に近づけられるよう継続して取り組んでいく。	
	15 漁獲量		2018年度 458.8t	2030年 547.4t	487.1t（2019年度）／基準値と比較し、漁獲量自体は増加していることから、今後も担い手育成等に取り組むことで目標値達成を目指す。	

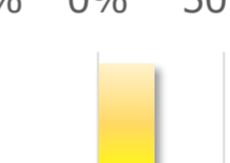
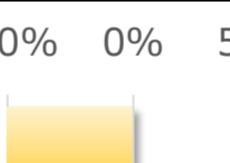
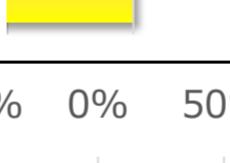
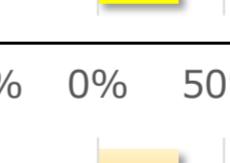
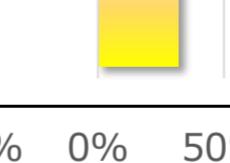
1. 全体計画

行政体内部の推進体制	自治体SDGsの情報発信・普及啓発の取組状況・課題	有識者からの取組に対する評価
<ul style="list-style-type: none"> ■各種計画への反映状況や課題 <ul style="list-style-type: none"> ・和歌山市まち・ひと・しごと創生総合戦略や高齢者・地域福祉計画などの個別計画でもSDGsに関して記載をするとともに、長期総合計画実施計画では、主な事務事業に最も関連性のあるSDGsのゴールを明記している。なお、2026年度までの目標を定めている第3次和歌山市環境基本計画においても、次回改訂時に、SDGsに関する記載を盛り込むことを検討している。 ■行政体内部の執行体制及び首長のリーダーシップ <ul style="list-style-type: none"> ・SDGs推進に係る重要な案件については、市長をトップに各局長で組織される政策調整会議に諮ることとしているほか、幹部連絡会議の場でもSDGs関係のオンライン講演会などの情報を共有し、上層部を交えて各組織への伝達等を進めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ■計画に記載している情報発信および普及展開策の進捗状況 <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信については、市のHPや庁舎1階のモニターなどを活用し積極的に取り組んでいるものの、他都市や海外との連携を生かした情報発信については、新型コロナ感染症の拡大により順調に進んでいるとは言えない状況であり、今後の状況を見つつ、取組を進めていくとしている。また、普及展開策について同じく取組を進めているものの、特に他地域への普及展開については、新型コロナ感染症の拡大により取組が遅れているため、今後オンライン等の手段も含めて、展開可能性を検討していく。 ■学校現場等での普及啓発の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・未来都市に選定されたことで、小学校や高校、大学、企業などで本市のSDGsの取組について講演する機会が増加しており、依頼は基本的に全て受けている。その他、イベントでもSDGsに関する展示を実施。 ■HP等による発信やオンラインでの普及啓発 <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ感染症の拡大もあり、オフラインでの情報発信や普及啓発が困難となってからは、HPの充実を図るとともに、和歌山市SDGs推進ネットワーク事務局として、オンラインでの会員向け勉強会（SDGs de 深めナイト）を実施しSDGs推進を図っている。また、一般向けにもオンライン講演会を開催し、広く持続可能なまちづくりの担い手の育成にも取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ■社会面での市民世論調査（高齢者の充実した生活やまちづくり活動等）について単年度ではらつきがあることは理解できるが、より長期的にはどのような傾向にあるのか今後説明が望まれる。 ■リノベーションについては環境整備も含めて着実に進めていくことを期待する。 ■新型コロナ対応としてオンラインでの情報発信、セミナー等へシフトする事は労力を要することであるが、今後の重要性は明らかであり、着実に進めることを期待する。
<ul style="list-style-type: none"> ■ステークホルダーとの連携 <ul style="list-style-type: none"> ・計画に記載している連携内容の進捗状況 <ul style="list-style-type: none"> ・域内外の主体との連携に関しては、加太地区における取組を加太まちづくり会社等と連携して進めているところである。ただし、国内の自治体及び海外の主体との連携については、新型コロナウイルス感染症の流行拡大により、会議・イベント開催等を見送らざるを得ない状況が続いていることから、状況を見つつ、連携強化にかかる取組を進めていくとしている段階である。 ■和歌山市SDGs推進ネットワークの設立 <ul style="list-style-type: none"> ・未来都市計画でも大学や民間など多様な主体と連携を図ると記載していたが、本年1月にSDGsに取り組む企業や団体のパートナーシップを深め、各々の活動の活性化を目指すとともに、地域におけるSDGsの達成に向けた取組の推進につなげるためのプラットフォームとして「和歌山市SDGs推進ネットワーク」を設立した。現在160を超える団体が加入している。 	<ul style="list-style-type: none"> ■地方創生・地域活性化への貢献 <ul style="list-style-type: none"> ■パートナーシップによる取組の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・和歌山市SDGs推進ネットワーク内で、コロナ禍でも社会的に意義のある活動を展開された企業の取組をHPで紹介したほか、プロジェクトチームの組成を促し、地域における課題解決に向けた検討を進めている。 ■官民SDGsワークショップ <ul style="list-style-type: none"> ・前述の一般向けオンライン講演会を①人材育成、②食、③海のテーマで開催し、そのテーマと併せて官民SDGsワークショップを実施する予定である。このワークショップではテーマ関係課の職員のほか、広く一般から参加者を募集し、官と民の垣根を越えて、地域における課題解決と地域活性化を目指すものである。 	

SDGs未来都市等進捗評価シート

2019年度

1. 全体計画

自治体SDGsの推進に資する取組の2021年のKPI	取組名	ターゲット	指標名	当初値	2019年	2021年	達成度 (%)	進捗状況や課題等（定性指標や補助指標等を含む）
①リノベーションまちづくりを核としたまちなかの魅力向上	6.3 海・山・川などの豊かな自然環境に対する市民満足度（市政世論調査）	6.3	海・山・川などの豊かな自然環境に対する市民満足度（市政世論調査）	2018年度 62.5%	2019年度 58.9%	2021年 62.8%	-50% 0% 50% 100%  -1200%	市政世論調査の数値を使用しているため、各年でどうしてもバラつきはでてしまうが、基準値を下回る状況となっていることから、持続可能な海社会を創るために取組をはじめ、自然環境保全への取組に継続して取り組んでいく。
		8.3	創業件数	2018年度 140	2019年度 102	2021年 204 累計	-50% 0% 50% 100%  -59%	特に課題なく順調に推移（目標値は3年間の累計値のため）
		11.3	まちなか居住人口の比率	2018年度末時点 8.8%	2019年度 8.8%	2021年 9.1%	-50% 0% 50% 100%  0%	現在、コンパクトシティ政策を推進しているところであり、成果があらわれるまではいましばらく時間がかかると思われるが、継続して取り組んでいく。
		11.3	リノベーション実事業化物件数（累計）	2018年度末時点 18	2019年度末時点 20	2021年 27	-50% 0% 50% 100%  22%	ベースとしては、少し遅れている。コロナ禍における案件化の促進など今後もハードルはあるものの、継続して取り組んでいく。
	②郊外漁村エリアの持続可能な地域づくり	11.7	高齢者が住み慣れた地域で充実した生活を送っていると思っている市民の割合（市政世論調査）	2018年度 57.5%	2019年度 53.8%	2021年 58.5%	-50% 0% 50% 100%  -370%	市政世論調査の数値を使用しているため、各年でどうしてもバラつきはでてしまうが、基準値を下回る状況となっていることから、高齢者も含め誰もが住みやすいまちづくりに継続して取り組んでいく。
		12.8	地域住民によるまちづくり活動やふれあい活動に対する市民満足度（市政世論調査）	2018年度 14.1%	2019年度 9.1%	2021年 16.4%	-50% 0% 50% 100%  -217%	市政世論調査の数値を使用しているため、各年でどうしてもバラつきはでてしまうが、基準値を下回る状況となっていることから、より住民主体のまちづくりの動きを促進できるよう継続して取り組んでいく。
		14.2	漁獲量	2018年度 458.8 t	2019年度 487.1 t	2021年 547.4 t	-50% 0% 50% 100%  32%	基準値と比較し、漁獲量自体は増加していることから、今後も担い手育成等に取り組むことで目標値達成を目指す。
③持続可能な都市づくりのための人材育成	4.7	高校生の市内就職率	2018年度 82.5%	2019年度 87.8%	2021年 91.3%	-50% 0% 50% 100%  60%	順調に推移している	
	12.8	ボランティア登録団体数	2018年度 422	2019年度 480	2021年 425	-50% 0% 50% 100%  1933%	既に目標値を達成済	